

<第14節最終順位表>

	チーム名	勝	負	分	得	失	差	勝点
1	筑波大学	9	1	4	32	14	+18	31
2	流通経済大学	9	4	1	35	25	+10	28
3	駒澤大学	8	5	1	36	18	+18	25
4	国士館大学	6	3	5	27	19	+8	23
5	中央大学	5	6	3	27	37	-10	18
6	順天堂大学	5	8	1	27	37	-10	16
7	東京学芸大学	4	9	1	19	28	-9	13
8	亜細亜大学	1	11	2	13	38	-25	5

★得点ランキング★

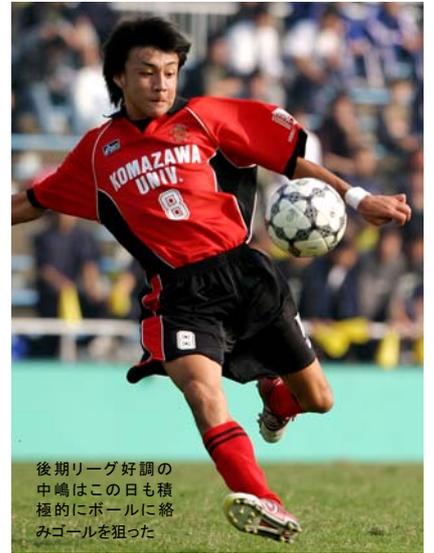
13ゴール 鴨川 奨(順大)
8ゴール 兵働昭弘(駒大)
7ゴール 赤嶺真吾(駒大)
原一樹(駒大)
杉本恵太(流経大)
岡本勇輝(流経大)
山田将登(東学大)

★アシストランキング★

7アシスト 藤本淳吾(筑波大)
5アシスト 中後雅喜(駒大)
栗澤僚一(流経大)
小林優希(中大)
境谷 主(順大)
4アシスト 赤嶺真吾(駒大)
他3名



初先発も「緊張はしなかった」というように冷静沈着なプレーで攻撃の起点となった



後期リーグ好調の中嶋はこの日も積極的にボールに絡みゴールを狙った



リーグ戦ベストイレブンに入った3人(左から赤嶺、小林亮、中後)。赤嶺と小林亮は2年連続、中後は初の受賞となった



決勝点を決めた大澤はゴール後も気を緩めず、集中した守りをみせた

11月7日 12:00 西が丘サッカー場

駒大2(1-1)1 国士大
(3位・25) (4位・23)

得点者(アシスト)

【国】9分:加藤浩史2(柴崎晃誠1)
【駒】37分:中後雅喜3(赤嶺真吾4)
【駒】67分:大澤陽介2

KOMAZAWA	KOKUSHIKAN
GK①牧野利昭(3)	GK①吉岡広介(4)
DF③筑城和人(2)	DF②橋本尚樹(4)
DF②桑原 靖(3)	DF④竹内 彬(3)
DF③大澤陽介(4)	DF⑤山崎祐輔(2)
DF④小林 亮(4)	DF③片山奨典(3)
MF⑥中後雅喜(4)	MF⑫柴崎晃誠(2)
MF⑩関 光博(4)	MF⑦半田武嗣(1)
(55分⑦鈴木亮平(3))	(72分⑨菅原康太(4))
MF⑧中嶋祐太(4)	MF⑩養父雄二(2)
MF⑨宮崎大志郎(3)	MF⑫加藤浩史(3)
FW⑩巻 佑樹(2)	(75分⑨蒲原達也(4))
FW⑨赤嶺真吾(3)	MF⑩清水康也(4)
(81分⑩原 一樹(2))	FW⑧鈴木崇也(1)
	(56分⑩金子央朋(4))

S U B	S U B
GK④太 洋一(4)	GK④金子芳裕(4)
DF⑫廣井友信(2)	DF⑫佐藤直貴(2)
DF⑫塚本泰史(1)	DF⑫足助 翔(1)
MF⑫八角剛史(1)	MF⑫藤原修弥(4)
MF⑫大瀬良直人(4)	

MANAGER 秋田浩一

MANAGER 細田三二

【駒】17分:巻 佑樹(C)、19分:宮崎大志郎(C)
【国】60分:清水康也(C)、86分:山崎祐輔(C)

【シュート】12:9[CK]9:13[FK]10:2[直接FK]18:28
【間接FK】7:11[OS]7:11【主審】前之園晴彦(観衆)約 1200

※上記データは全て左側の数字が駒澤

MOM MF 中後雅喜

立ち上がりの9分に先制されるも焦らず、ゲームを組み立て、37分には華麗にミドルシュートを決め攻守にわたり活躍をみせた。



優勝は筑波大!!

■ 中盤で巧みにパスを回す筑波大と、杉本のスピードを生かしチャンスを演出していく流経大との優勝決定戦は、激しい攻防戦となった。■ 前半、栗澤のPKで流経大が先制するも、後半、筑波大の攻撃陣が爆発。51分の平山のゴールを皮切りに、1分後には兵働、その3分後には藤本、さらに3分後にはまたも平山と、7分間で4得点のゴールラッシュ。■ 粘る流経大もロスタイムに栗澤のPK、岡本のゴールで追い続けるもここまで。筑波大が4年ぶり14度目の優勝を飾った。



前期負けなし首位ターンをみせた筑波大は後期終盤苦しみながらも首位を守りきり優勝を手にした